

令和8年度(2026)

公益財団法人 出雲市芸術文化振興財団

事業計画



出雲 Jr. フィル×岡山市ジュニアオーケストラ スペシャルコンサート



展示事業 (萬祥山焼展)



展示事業 (岩合光昭写真展)

令和8年(2026)2月25日

目 次

I 基本方針	P1
II 主な事業(要旨)	P1
III 公益目的事業	P2
1. 芸術文化振興事業	P2
(1) 出雲総合芸術文化祭事業	P2
(2) 出雲芸術アカデミー事業	P4
(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務	P8
2. 博物館事業	P9
(1) 展示事業	P9
① 出雲文化伝承館 ② 平田本陣記念館	
(2) 出雲和文化交流会事業	P14
(3) 郷土資料調査活用事業	P15
(4) 呈茶事業	P15
(5) 文化財保存公開事業	P15
(6) 共催事業	P16
3. 貸館事業	P17
(1) 出雲市民会館	P17
(2) ビッグハート出雲	P17
(3) 平田文化館	P18
(4) 大社文化プレイスうらら館	P18
(5) 出雲文化伝承館	P19
(6) 平田本陣記念館	P20
IV 収益事業	P21
1. 貸館事業	P21
(1) 出雲市民会館	P21
(2) ビッグハート出雲	P21
(3) 平田文化館	P21
(4) 大社文化プレイスうらら館	P21
(5) 出雲文化伝承館	P21
(6) 平田本陣記念館	P21
2. チケット販売等物販事業	P21
3. 大社図書館管理事業	P21
V 管理施設の概要	P22

令和8年度(2026)事業計画

I 基本方針

公益財団法人出雲市芸術文化振興財団は、平成25年度に公益法人となり令和8年度は新法人移行後14年目を迎え、また、新たな5年間の指定管理期間のスタートの年となりました。

本年度も芸術文化振興事業、博物館事業のほか、出雲市から指定管理者として指定を受けている6施設(※1)の貸館・管理運営事業などの公益事業を中心に事業を展開します。出雲市における芸術文化振興の中核を担う公益法人として、経営の健全化に配慮しつつ、『文化芸術基本法』の趣旨等に沿い、多様な文化の発信や幅広い文化活動の場の提供、次世代育成事業などに積極的に取り組んでいきます。

※1 指定管理6施設

- ・ 出雲市民会館、ビッグハート出雲、平田文化館、大社文化プレイスうらら館のホール系4施設
- ・ 出雲文化伝承館、平田本陣記念館の展示系2施設

II 主な事業(要旨)

芸術文化振興事業については、「音楽のまち 出雲」の推進のため、地域の芸術文化活動を積極的に促進し、市民への鑑賞の機会、参加の機会、実践の機会を提供します。

また、出雲芸術アカデミーの安定的な運営に努め、人材養成事業及び出前講座(アウトリーチ活動)による普及啓発事業を積極的に展開するとともに、「出雲フィルハーモニー交響楽団定期演奏会」等の公演事業の充実を図ります。

鑑賞事業としては、「劇団四季ミュージカル『コーラスライン』」、「ミュージカル『ALICE』」等を開催します。

博物館事業については、日本や出雲の優れた芸術文化、歴史等を紹介するとともに郷土の魅力を再認識していただくため、出雲文化伝承館と平田本陣記念館で合わせて9回の展覧会を行い、伝承館の「アサダニッキ展」、「金築秀俊展」、本陣記念館の「古川誠写真展」、「岩合光昭写真展」などにより、幅広い分野の優品を紹介します。

貸館事業については、各館の特色を十分に生かすとともに、連携と総合力で利用者の要望に的確に応え、引き続き適切な管理運営を行います。

また、出雲市公共施設予約システムの本格的運用を進めるとともに、出雲市の条例改正に伴い、施設利用料の改定を実施します。これらに対しても適切に対応するよう努めます。

Ⅲ 公益目的事業

1. 芸術文化振興事業

公益目的事業の中心となる芸術文化振興事業は、所管する施設の特色を生かしながら鑑賞機会の充実、芸術文化活動の促進など幅広い取組による普及・推進を図ります。

(1) 出雲総合芸術文化祭事業

鑑賞事業では、メディア等との共催事業に積極的に取り組むことで、支出を押さえながら多彩で優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供します。出雲では約15年ぶりとなる劇団四季の人気ミュージカル演目『コーラスライン』や豪華出演陣で話題のミュージカル『ALICE』など、華やかな舞台芸術をお届けするほか、人気ミュージシャン「ゴスペラーズ」によるコンサートなど、幅広い世代に楽しんでいただける内容で実施します。



【コーラスライン】○下坂敦俊

次世代向けの事業では、出雲芸術アカデミー音楽院講師を中心とした地元の音楽人材の協力を得て、子どもたちの豊かな感性と創造性を育むため「0歳からのクラシックコンサート（仮称）」を開催します。上演に際してはより音楽に親しんでもらうため、子どもたちによる楽器演奏の体験コーナーを設けるほか、小さなお子様連れのご家族も安心して気軽にコンサートを鑑賞できるよう、看護師や授乳室の配置、上演中の入退場制限を無くすなど、様々な鑑賞サポートの導入を検討します。

地元住民等を中心とする実行委員会による各種自主事業については、継続的な取組の蓄積を生かしつつ、事業内容の精査や評価により更なる事業効果が発揮されるよう促します。さらに市内文化団体や地域文化活動との連携・協働により、優れた芸術文化活動の担い手の育成と芸術文化を通じた地域活性化を図ります。

また、市民の皆さんが気軽に文化施設を訪れ、舞台公演に参加したり鑑賞できる機会を広げることを目的に、NHK松江放送局との共催による人気番組の公開収録誘致にも積極的に取り組みます。

こうした事業の実施に当たっては、対象となる年齢層を考慮しながら、SNSなど多様なメディアを通じてタイムリーに情報を発信し、広く関心を高め市民の参加を促します。事業後には来場者アンケート等により多角的な意見やニーズを把握するとともに、出雲芸術文化振興会議による事業評価の結果を踏まえ、次年度以降の事業へ反映していきます。

事業区分	事業名	会場	開催月日
鑑賞事業	劇団四季ミュージカル『コーラスライン』【共催】	出雲市民会館	11月4日(水)
	ゴスペラーズ・コンサート【共催】	出雲市民会館	11月29日(日)
	ミュージカル『ALICE』【共催】	出雲市民会館	12月19日(土)
	人形劇団あつけらかん『おまえうまそうだな』	大社うらら館	令和9年 3月27日(土)
自主事業	将棋フェスティバル	弥生の森博物館	8月で調整中
	出雲囲碁フェスティバル	大社うらら館	8月1日(土)
	第24回いずも音楽コンクール	ビッグハート	11月14日(土) 15日(日)
	第25回いずも新春コンサート	ビッグハート	令和9年1月で 調整中
	0歳からのクラシックコンサート (仮称)	大社うらら館	6月6日(土)
	地域伝統芸能継承事業(仮称)	大社うらら館	調整中

	第 17 回出雲神在月市民芸術文化の祭典【共催】	斐川文化館	調整中
	公開生放送「NHK のどじまん」【共催】	出雲市民会館	5 月 24 日（日）



碁フェスティバル



将棋フェスティバル

(2) 出雲芸術アカデミー事業

今年度 2 年目を迎える出雲芸術アカデミーでは、設置目的である子どものころから芸術文化に触れる機会の提供と充実に努めます。また、広く市民の芸術文化活動への参加促進及び地域芸術文化を支える指導者の育成を図り、市民が真に心の豊かさと幸せを実感できる「芸術文化の都出雲の創造」の実現に向けて事業運営に取り組みます。

「音楽院」では、幼児から高齢者までを対象に、様々な器楽・声楽の講座を運営し、その成果発表の場として各種演奏会を開催します。特に今年度から、部活動の地域展開を見据えて、吹奏楽分野の楽器の講座にも取り組みます。

「音楽研究院」では、学術研究を通じて出雲芸術アカデミーの指導者育成を図るとともに、市内の保育所（園）・幼稚園、小中学校など 20 か所に、アカデミーの指導者が出向き、生演奏や楽器体験、演奏指導などを行うアウトリーチ活動を実施します。子どもたちの音楽芸術への興味関心を引き出し、創造性と感性を高め、人間性豊かな人材育成を図ります。

また、アウトリーチ事業のしめくくりとして開催する「ビッグ・ハートフルコンサート

ト」では、鑑賞者の育成や出雲芸術アカデミーの裾野の拡大、さらに劇場活性化にも繋がっていきます。

さらに、アウトリーチ活動とは別に、行政やコミュニティセンター等地域団体からの依頼演奏にも積極的に取り組み、様々な機会を通じて多くの市民が音楽に親しむ機会を提供します。

演奏会では、9月に「出雲フィルハーモニー交響楽団による「第28回定期演奏会」、1月には、「ニューイヤーコンサート」を開催し質の高い演奏を市民に鑑賞機会として提供します。3月には、「音楽院」受講生の1年間の成果発表の場として「ファミリーコンサートシリーズ2027」を開催します。

音楽愛好者等から寄贈を受けたLPレコード（約2,500枚）と最新の音響機器を使って2か月に1回実施している「LPレコード音楽サロン」は、実施から5年目を迎えます。音質の素晴らしさはもとより、曲前や曲間に行う作曲家や演奏者を紹介することで、クラシック音楽への興味、関心を深めていきます。



アウトリーチの様子



依頼演奏の様子



器楽コース (ジュニア弦)



器楽コース (ジュニア打)



声楽コース (ジュニア&ユース)



音楽入門コース



特別講座 (サクソ)



特別講座(ユーフォニアム)

〈演奏会〉

事業名	会場	開催月日(予定)
出雲フィルハーモニー交響楽団 第28回定期演奏会	出雲市民会館	9月22日(火祝)
ビッグ・ハートフルコンサート	ビッグハート出雲	令和9年 1月で調整中
ニューイヤーコンサート	ビッグハート出雲	令和9年 1月で調整中

ファミリーコンサートシリーズ 2027	大社うらら館	令和 9 年 3 月 21 日 (日)
交流演奏会 出雲 Jr.フィル スペシャルコンサート in 岡山	岡山芸術創造劇場 ハレノワ	令和 9 年 3 月 28 日 (日)
LPレコード音楽サロン 2026	出雲交流会館、 大社うらら館他	5 回/年



出雲フィルハーモニー交響楽団



LPレコード音楽サロン

(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務

出雲メセナ協会の事務局事務を担います。

* 《出雲メセナ協会について》

- ・ 設立：出雲市内の企業や個人が出雲地域の芸術文化の普及、向上、発展に寄与することを目的に平成10年に設立。(会員数204名[R7.12末])
- ・ 主な活動：会員の会費を原資とした、出雲地域で開催される芸術文化活動への財政支援等。(芸術文化活動財政支援事業、芸術家派遣事業、メセナ協会だより発行等)



出雲メセナ協会【財政支援事業】



出雲メセナ協会【芸術家派遣事業】

2. 博物館事業（出雲文化伝承館・平田本陣記念館）



出雲文化伝承館及び平田本陣記念館では、「出雲市芸術文化推進指針」や国の「文化芸術基本法」等を踏まえながら、出雲地方や日本の優れた美術工芸、歴史、民俗等の資料の収集、保管及び展示に関する事業を一体的に実施し、わが国と出雲文化の魅力を紹介するとともに郷土に自信と誇りをもつことのできる多様な事業展開を行います。

また、地域との連携・協力や文化観光活動も積極的に行い、さらなる地域の活力向上に取り組めます。

出雲和文化交流会事業では、郷土に伝わる生活文化や伝統文化に触れる事業を実施するほか、講座や教室等を開催して芸術文化の多面的な振興に努め、地域の芸術文化を推進するプラットフォームとなるよう努力します。あわせて両館の事業などをホームページやSNSなどで紹介し、出雲の文化力を広く発信します。

(1) 展示事業

出雲文化伝承館及び平田本陣記念館では、出雲地方の豊かな歴史や芸術文化の人的、文化財的な資産の活用、継承、発展を目指します。本年度は多様な内容の展示事業として両館で9回の展覧会を開催します。

伝承館では「アサダニッキ展」、「金築秀俊展」、本陣記念館では「古川誠写真展」、「岩合光昭写真展」などを開催し、子どもから大人まで楽しめる幅広い展覧会を行います。そして展覧会にあわせて講演会、ギャラリートーク、ワークショップなどを企画し、多面的に展覧会の内容を深めます。

また、伝承館の出雲文化工房展示室では、平野勲氏の「日本の祭り」、「出雲國神伝絵巻」などを展示します。

①出雲文化伝承館

展覧会名称（仮称）	開催期間（予定）	内 容
萬祥山焼展	4月1日～ 5月31日 《公開54日間》 （令和7年度からの 継続事業）	萬祥山焼は、明治初期に現出雲市大津町で開窯して以来、出雲を代表する伝統工芸品として長く親しまれてきた焼物です。本展では、2023年に閉窯した萬祥山焼の変遷をたどるとともに、その優れた作品を展示します。
アサダニッキ展	7月18日～ 9月23日 《公開59日間》	出雲市出身の漫画家アサダニッキ氏の初となる展覧会です。本展では、貴重な作品を多数展示するとともに、ネームやラフ画などから、作家の息吹を間近に伝え、その魅力を余すことなく紹介します。
金築秀俊展	10月10日～ 11月29日 《公開44日間》	金築秀俊氏は、1961年出雲市に生まれ、自らの経験をもとにボクシングを題材に描き続けています。2018年の改組新第5回日展で「ボクサー」、2024年の第11回日展では「GYM」が特選受賞する快挙を成し遂げました。本展では、初期作から、これまでの受賞作を中心に作品を紹介します。
郷土の美術工芸展	1月9日～ 3月14日 《公開56日間》	出雲地方の家々で大切に守り伝えられた優品や、地元の美術愛好家によって収集された秘蔵のコレクションなど、多様な郷土ゆかりの逸品を紹介し、当地で紡がれてきた豊かな文化を紹介します。
ありがとう！和田毅展	3月20日～ 3月31日 《公開10日間》 （5月30日までの継続事業）	和田毅氏は、出雲市出身の元プロ野球選手です。福岡ソフトバンクホークス、シカゴ・カブスなどに所属し、プロ生活22年間で日米通算165勝を誇り、日本代表としてもアテネ、北京の五輪やWBCで活躍しました。日本を代表する左のエースが育った当地で彼の軌跡をたどりま

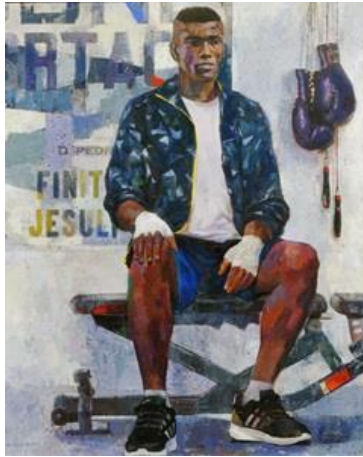


萬祥山焼展



©アサダニッキ/宝島社

アサダニッキ展



金築秀俊展



郷土の美術工芸展

②平田本陣記念館

展覧会名称（仮称）	開催期間（予定）	内 容
浮世絵美人 —百花繚乱 お江戸美人 のライフスタイル—	4月1日～ 5月10日 《公開36日間》 (令和7年度からの 継続事業)	江戸に生きる女性たちの暮らしや仕事、ファッションやコスメに焦点をあて、当時のライフスタイルを紹介します。春信・清長・歌麿・北斎・豊国・広重・国芳ら、豪華浮世絵師たちの浮世絵から楽しく紹介します。
古川誠写真展 —Mémoire 永遠ではない風景 KOIZU 2023-2026—	6月13日～ 8月23日 《公開63日間》	古川誠氏（日本写真協会会員）は、1952年松江市に生まれ、出雲市を拠点に山陰の風土と民俗を撮り続けています。一方で数多くの広告写真を手がけ、地域のかげがえのない魅力を全国に発信しています。本展では、日本海を望む出雲市小伊津町に足繁く通り、4年かけて記録し続けてきた写真作品を紹介します。
岩合光昭写真展 —ご当地ねこ—	9月5日～ 11月23日 《公開71日間》	NHKの人気番組「岩合光昭の世界ネコ歩き」で出会った日本全国の「ご当地ねこ」たちが大集合します。その土地ならではの気候風土の中で暮らす猫たちの豊かな表情や仕草、躍動感をとらえた写真を展覧します。
吾郷佳昭書展	3月20日～ 3月31日 《公開10日間》 (5月16日までの継 続事業)	吾郷佳昭氏（島根県独立書人団代表）は、1949年現出雲市平田町に生まれ、長年にわたり書壇で精力的に活躍し、後進の育成にも尽力しています。本展では、「大自然に生かされて、、、心の豊かさ」をテーマに近作・新作の数々を展覧します。



浮世絵美人



©Makoto Furukawa

古川誠写真展



©Mitsuaki Iwago

岩合光昭写真展



吾郷佳昭書展

(2) 出雲和文化交流会事業

出雲文化伝承館では、出雲和文化交流会との共催で、茶道、華道、香道、箏、日本舞踊、和菓子づくりなど伝統文化に親しむ教室や体験イベントを開催します。また、幼稚園や保育園へのアウトリーチとして「お箏と踊りのミニ鑑賞会」を行います。



茶道体験教室



いけばな体験教室



おやこ香道体験教室



箏体験教室



日本舞踊体験教室



和菓子づくり体験教室



アウトリーチ

(3) 郷土資料調査活用事業

出雲文化伝承館、平田本陣記念館が寄贈、寄託を受けた歴史、文芸資料の整理、目録作り、撮影、解説を行い、今後の展示事業への活用を図るため調査、研究、整理を行います。特に木佐家文書「平田実道日記」の整理を重点的に行います。

(4) 呈茶事業

お茶の文化が古くから伝わる出雲において、茶道文化の伝承と普及を図るため、出雲文化伝承館の茶室「松籟亭」、平田本陣記念館「庭園鑑賞ホール」で、呈茶を行います。あわせて茶道各流派と連携し、茶道文化の啓発に努めます。



呈 茶（出雲文化伝承館）

(5) 文化財保存公開事業

出雲文化伝承館では、出雲市指定文化財である出雲屋敷等の施設の公開と活用を図り、くつろぎの中で伝統建築を鑑賞していただけるよう、出雲流庭園、松籟亭及び独楽庵と一体となった落ち着いた景観の維持管理に努めます。

また、平田本陣記念館では、県内では稀に残る御成り座敷と庭園を中心に保存公開し、特色ある出雲文化の伝統を紹介します。さらに本陣記念館では、学校の授業で来館する市内小学校児童へ民具の解説を行います。

あわせて両館では市民所蔵の美術品等の保存活用について、専門的な支援、助言を行います。

(6) 共催事業

出雲文化伝承館では、「第35回早春の茶会」を令和9年3月13日、14日に開催します。

主催 早春の茶会（表千家、裏千家、三斎流、不昧流不昧会、香道御家流）

3. 貸館事業

出雲市民会館をはじめ財団が管理する6つの施設は、多くの市民に親しまれる地域文化振興の拠点として、財団自主事業や各種文化団体による上質な演劇・演奏を鑑賞する機会や、広く市民を対象とした講演会や発表会の場を提供し、芸術文化の振興を図ります。

施設の貸出しに当たっては、当該館の施設のみならず他館の特徴も把握し、利用者の要望に応えるとともに適切かつ効率的な貸出しに努めます。

また、各施設とも建設から長年が経過しており、建物や館内設備、舞台設備等の計画的な改修について出雲市に要望するとともに、建物・設備・備品の保守点検と小修繕を適時適切に行うなど維持管理に努めます。

(1) 出雲市民会館



出雲市のメインホールである1,210席の大ホール、大小会議室、展示室、多目的室など、地域の文化センターとして活用されており、引き続き、催し物・会議・展示会など利用者の要望に応え、有効に利用していただけるよう取り組みます。

(2) ビッグハート出雲



シューボックス型（舞台上の三面に客席を設け、ステージを取り囲む形）にもできるコンサートホール（最大441席）や、スタジオ、アートギャラリーなどの多彩な施設を擁していることから、演奏会・ダンス・講演会・展示会など幅広く利用されています。

JR出雲市駅、一畑電鉄駅に近接した利便性を生かし、地域の芸術・文化活動の拠点として利用促進に努めます。

(自主事業)

来場者の増加につながるような自主事業を企画します。

(3) 平田文化館



電動移動観覧席により多様な座席設定ができるプラタナスホール（最大 779 席）のほか、小ホールや会議室等を活用して、コンサートや発表会をはじめ、講演会、展示会、大人数での会議やパーティーなど多目的に利用されています。

引き続き、地域の文化活動の拠点として、雲州平田文化協会加盟団体をはじめとして多くの市民の利用促進に努めます。

(その他)

令和 8 年度には雲州平田文化協会が設立 5 0 周年を迎えることから、大規模な記念事業が計画されており、当協会の事務局として事業成功に向け尽力します。

(4) 大社文化プレイスうらら館



6 0 0 席のだんだんホール及び 2 0 0 人の収容が可能なごえんホールを有する市内の中規模文化施設として、利用者の要望に応え、有効に利用していただけるよう取り組みます。

また、出雲市立大社図書館との複合施設という特徴を生かし、地域の文化拠点として親しみをもって使っていただけるよう、地域の文化団体等との連携を大切にしながら業務を推進します。

(自主事業)

多様な音楽に触れる機会を作るため、大社地域の音楽愛好家をはじめ広く出雲市民に

も呼びかけ、出雲芸術アカデミーとの共催で「大社文化プレイスうらら館LPレコード音楽サロン」を開催します。

(5) 出雲文化伝承館



出雲文化伝承館は、市指定文化財の「出雲屋敷」、博物館機能を有する「企画展示室」、不昧公ゆかりの茶室「独楽庵」、抹茶を提供する茶室「松籟亭」、多目的ホールの「縁結び交流館」、陶芸や和菓子作り体験等ができる「出雲文化工房」など多様な施設を有しています。

施設の貸出しについては、出雲文化の伝承・継承を図る目的に沿って適切に対応するとともに、利用者に多様で特色ある施設を有効に活用していただけるよう努めます。

また、伝統文化の保存、継承、交流、発信のみならず、地域の生涯学習や観光などの拠点として、行政や関係団体等との連携のもと、幅広く施設を有効活用するよう取り組みます。

(自主事業)

出雲文化伝承館の特徴を生かして、伝統文化の普及・継承を目的に、幅広い文化講座や体験教室を開催します。

① 出雲流庭園講座

島根県技術士会の協力で出雲流庭園の特徴や歴史などを学びます。

② 掛軸の取り扱い方教室

当館学芸員から掛軸の掛け方、収め方及び保管方法を学びます。

③ 陶芸教室

陶芸の基礎を学び、自分だけの焼物を制作します。

④ お屋敷でクラシック

出雲芸術アカデミーとの共催で、「和文化」と「西洋音楽」をコラボレーションさせ、クラシック音楽の鑑賞会を出雲屋敷で開催します。

⑤ 夏休み子ども陶芸教室

小学生を対象とした陶芸教室を開催します。

⑥夏休み子ども書道教室

小学生を対象とした書道教室を開催します。

(6) 平田本陣記念館



平田本陣記念館は、御成門など江戸時代の面影を残し、日本の伝統的な建築技法で造り上げられた本館のほか、市内外の美術工芸品の展示を行う展示館、茶室「悠々庵」を有しています。また、本館には、出雲流日本庭園の鑑賞ホールや、明治から昭和初期の出雲の生活文化を伝える民芸品展示室も備えています。

本館、展示館、茶室(悠々庵)の貸出しについては、利用者に有効利用していただけるよう情報発信を行い、利用促進に努めます。

(自主事業)

伝統文化の普及、継承と地域文化活動の振興を目的に引き続き、子ども・親子教室、一般対象の教室を開催します。

そのほか、市民に当館をより親しんでいただくため、また展示館への誘客の一助とするため、地域で活動している作家や団体等の発表の場として、本館展示「ミニギャラリー」を企画します。

① 子ども・親子教室

夏休み・冬休みを中心に書道、茶道、華道など日本の文化、工芸等を体験する教室を開催します。

② 文化講座（一般対象）

日本刀初心者講座では、日本刀を鑑賞する際のコツや作法を学びます。また、掛軸の取り扱い方教室など日本の文化的な体験ができる教室を開催し、その理解や普及を図ります。

IV 収益事業

1. 貸館事業

次の(1)から(6)までの施設の貸出しにおいては、営利を目的とする利用や入場料を徴収しての利用への貸出しを収益事業とし、利用者の要望に応え、有効に利用していただけるよう努めます。

(1) 出雲市民会館

ホール、楽屋、控室、展示室、多目的室、会議室

(2) ビッグハート出雲

ホール、控室、アートギャラリー、スタジオ、レセプションスペース、会議室、応接室、練習室、文化サロン

(3) 平田文化館

ホール、楽屋、会議室、和室、応接室

(4) 大社文化プレイスうらら館

ホール、楽屋、会議室

(5) 出雲文化伝承館

展示室、茶室、出雲屋敷・出雲流庭園、縁結び交流館（多目的ホール）、文化工房

(6) 平田本陣記念館

本館、展示室、茶室

2. チケット販売等物販事業

(1) ホール系施設において、各プロモーターが行うイベント等に係るチケットの販売等を行います。

(2) 出雲文化伝承館及び平田本陣記念館の企画展等において、受託販売物等の販売を行います。

3. 大社図書館管理事業

大社文化プレイスうらら館との複合施設である出雲市立大社図書館の施設管理業務（建築物及び設備機器の保守管理、清掃、保安警備業務など）を適正かつ効率的に行います。

V 管理施設の概要

管理施設名	主 な 施 設	利 用 例
出雲市民会館 (塩冶有原町 2丁目15) TEL 24-1212	大ホール(1,210席)	コンサート、演劇他各種公演、伝統芸能、式典、講演会、小・中・高校生の音楽練習ほか
	展示室(243㎡)	各種作品等の展示ほか
	多目的室(82㎡)	音楽団体等の練習、会議、展示
	会議室(5室)	セミナーや講座、企業や団体の会議・研修
ビッグハート出雲 (駅南町1丁目5) TEL 20-2888	白のホール シューボックス型(441席) プロセニアムアーチ型(341席)	コンサート、学会、講演会、研修会、各種教室・学校の発表会、音楽練習ほか
	アートギャラリー (263.78㎡)	各種作品展示、商品販売会ほか
	黒のスタジオ(139.48㎡)	ダンス・音楽の練習、会議、研修会ほか
	茶のスタジオ(122.47㎡)	講演会、会議、研修会、音楽練習ほか
	応接室(27.33㎡)	会議、学習会ほか
	レセプションスペース (91.21㎡)	会議、研修会、レセプションほか
	スタッフ控室(31.23㎡)	控室、打合せほか
	会議室(60.67㎡)	会議、面接、研修会ほか
	練習室(25.21㎡)	各種楽器練習、バンド練習ほか
	文化サロン(183.50㎡)	各種団体のミーティング、作業、相互交流の場ほか
平田文化館 (平田町2112-1) TEL 63-5030	プラタナスホール(406席 ~779席、572.2㎡)	講演会、研修会、式典、コンサート、伝統芸能等各種公演、映画上映会、作品展、展示会、パーティー、軽運動、音楽練習ほか
	小ホール(100席、144㎡)	講演会、会議、研修会、講習会、控室(楽屋)、作品展、展示会ほか
	会議室(2室)	会議、研修会、講習会、控室(楽屋)ほか
	和室(2室)	会議、研修会、控室(楽屋)ほか
	応接室	小会議、控室(楽屋)ほか

管理施設名	主 な 施 設	利 用 例
大社文化プレイス うらら館 (大社町杵築南 1338 - 9) TEL 53-6500	だんだんホール(600 席)	コンサート、演劇等各種公演、伝統芸能、式典、講演会、音楽練習ほか
	ごえんホール (200 席)	講演会、研修会、作品展示、音楽練習ほか
	会議室 (3 室)	会議、研修会ほか
出雲文化伝承館 (浜町 520) TEL 21-2460	出雲屋敷 (356.6 m ²)	見学、茶会、結婚披露宴、前撮りほか
	茶室「松籟亭」(150.82 m ²)	呈茶、茶会、香会ほか
	茶室「独楽庵」(33.15 m ²)	茶会、香会
	出雲文化工房 (438 m ²)	展示、作品展、陶芸教室、書道教室ほか
	企画展示室 (展示棟 580.8 m ²)	企画展、美術品等展示
	出雲縁結び交流館 (503 m ²)	音楽練習、コンサート、講演会、会議、ダンス、軽スポーツほか
平田本陣記念館 (平田町 515) TEL 62-5090	本館 (965.02 m ²)	ミニギャラリー、講演会、呈茶、地域イベント、結婚式等の前撮り、小学生の民具見学ほか
	展示館 (554.17 m ²)	企画展、美術品等展示
	茶室「悠々庵」 (129.17 m ²)	茶会、書道教室ほか